

**注 意 報**

2 病 第 7 号  
令和 2 年 3 月 2 7 日

関係各位

京都府病虫害防除所長  
(公 印 省 略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。



**病虫害発生予察注意報第 1 号**

- 1 作物名 **ネギ**
- 2 病虫害名 **べと病**
- 3 発生地域 **府内全域**
- 4 発生時期 **3月～6月**
- 5 発生量 **多い**
- 6 注意報発令の根拠

(1) 3月中旬の巡回調査(24ほ場)の結果、山城地域のネギ栽培ほ場(7ほ場)で前年同様、例年以上に早い時期から発生を認めている。

**表1 ネギべと病発生調査(3月中旬調査)**

	発病株率	発生ほ場率
	(%)	(%)
令和2年	7.1	29.2
平成31年	0.3	10.0
平成30年	0.0	0.0

\*:平成30、31年:25株調査、令和2年:100株調査

(2) 平成28年、29年及び30年に本病が多発している。

**表2 ネギべと病発生調査**

調査年	4月調査		5月調査	
	発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率
	(%)	(%)	(%)	(%)
平成31年 (令和元年)	0.0	0.0	0.0	0.0
平成30年	0.0	0.0	2.2	33.3
平成29年	0.0	0.0	4.7	33.3
平成28年	60.0	21.6	13.1	85.7
平成27年	0.0	0.0	0.0	0.0
平成26年	0.0	0.0	0.0	0.0

\*:各月の第3、4半旬に25株調査を行った。

(3) 向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。

## 7 防除上の留意事項

- (1) 平均気温が15～20℃前後で、降雨の多いときに発生が多くなるので、曇雨天が続く場合は、発生に注意する。
- (2) ほ場の水はけの悪い箇所から本病が発生しやすくなるので、排水に努める。
- (3) 発病前や発生初期から定期的に登録のある殺菌剤（表3）を散布し、まん延（二次伝染）防止に努める。

また、使用薬剤は異なる系統のものを用い、同一系統の薬剤の連用は避ける。

- (4) 被害葉は、翌年の発生源となるので、収穫後の被害葉は集めてほ場外に持ち出し、土中深くに埋めて処分する。
- (5) 農薬を使用する際には、使用基準を遵守して適正に使用する。最新の農薬情報は農林水産省ホームページの「農薬コーナー」の「農薬情報」で確認すること。  
（ホームページアドレス [http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n\\_info/index.html](http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/index.html)）

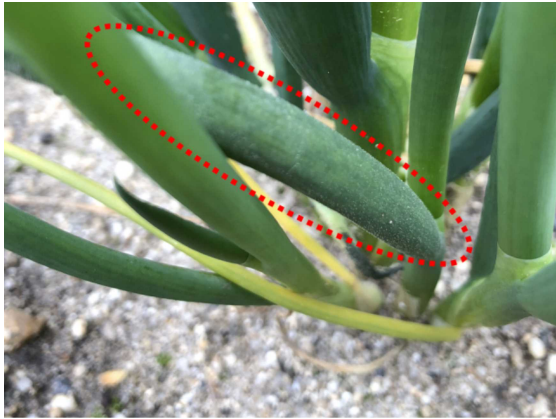


写真1 べと病の被害葉（発生初期、破線内）



写真2 葉上に形成したべと病菌分生孢子

表3 「ネギ」でべと病に登録のある主な農薬

(令和2年3月24日現在)

FRACコード*	農薬名	希釈倍数・使用量	使用時期	使用回数	使用方法	総使用回数	備考
4(A1) M3(M)	リドミルゴールドMZ	1,000倍	収穫30日前まで	3回以内	散布	マンゼブ(ジマンダイセン:FRACコード:M3)3回以内 メラクシル及びメラクシルM(リドミル:FRACコード:4(A1))5回以内(但し、種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内、散布は3回以内)	
4(A1) M05(M)	フォリオゴールド	800~1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布**	メラクシル及びメラクシルM(FRACコード:4(A1))5回以内(但し、種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内、散布は3回以内) TPN(FRACコード:M05(M))4回以内(但し、土壌灌注は1回以内、散布は3回以内)	
39(C1)	ハチハチ乳剤	1,000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布	トルフェンピラト(FRACコード:39(C1))2回以内	さび病 殺虫剤 FRACコード:21A
7(C2) M05(M)	ベジセイバー	1,000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布	ベンチオピラト(FRACコード:7(C2))4回以内(但し、株元灌注は2回以内、散布は2回以内) TPN(FRACコード:M05(M))4回以内(但し、土壌灌注は1回以内、散布は3回以内)	黒斑病、さび病、白絹病、葉枯病、小菌核腐敗病
11(C3)	アミスター20フロアブル	2,000倍	収穫3日前まで	4回以内	散布	アゾキシトロピン(FRACコード:11(C3))5回以内(但し、粒剤は1回以内、水和剤は4回以内)	黄斑病、黒斑病、さび病、葉枯病、リゾニア葉鞘腐敗病
11(C3)	メジャーフロアブル	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	ピコキシトロピン(FRACコード:11(C3))3回以内	黒斑病、さび病、葉枯病
11(C3) 7(C3)	シグナムWDG	1,500倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	ピラクトロピン(FRACコード:11(C3))3回以内 ホスカド(FRACコード:7(C2))3回以内	黒斑病、さび病
11(C3) M05(M)	アミスターオプティフロアブル	1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布**	アゾキシトロピン(FRACコード:11(C3))5回以内(但し、粒剤は1回以内、水和剤は4回以内) TPN(FRACコード:M05(M))4回以内(但し、土壌灌注は1回以内、散布は3回以内)	黄斑病、黒斑病、さび病、葉枯病、小菌核腐敗病
21(C4)	ランマンフロアブル	2,000倍	収穫3日前まで	4回以内	散布**	シアゾファミド(FRACコード:21(C4))4回以内	
21(C4) M05(M)	ドーシャスフロアブル	1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	シアゾファミド(FRACコード:21(C4))4回以内 TPN(FRACコード:M05(M))4回以内(但し、土壌灌注は1回以内、散布は3回以内)	黒斑病
21(C4) 27(U)	ダイナモ顆粒水和剤	2,000倍	収穫3日前まで	4回以内	散布	アミルピロム(FRACコード:21(C4))4回以内 シモキサニル(FRACコード:27(U))4回以内	
3(G1) M03(M)	テーク水和剤	600倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	シモキサニル(FRACコード:3(G1))3回以内(但し、は種時は1回以内) マンゼブ(FRACコード:M03(M))3回以内	黒斑病、さび病、葉枯病
40(H5)	フェスティバル水和剤	2,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	ジメモルフ(FRACコード:40(H5))3回以内	
40(H5) M01(M)	フェスティバルC水和剤	1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	ジメモルフ(FRACコード:40(H5))3回以内 塩基性塩化銅(FRACコード:M01(M))	
40(H5) M03(M)	フェスティバルM水和剤	1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	ジメモルフ(FRACコード:40(H5))3回以内 マンゼブ(FRACコード:M03(M))3回以内	
40(H5)	レーバスフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布	マンジプロバト(FRACコード:40(H5))2回以内	
40(H5) M05(M)	プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	ベンチアハリカルブイソプロピル(FRACコード:40(H5))3回以内 TPN(FRACコード:M05(M))4回以内(但し、土壌灌注は1回以内、散布は3回以内)	葉枯病
40(H5)	カンパネラ水和剤	750倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	ベンチアハリカルブイソプロピル(FRACコード:40(H5))3回以内 マンゼブ(FRACコード:M03(M))3回以内	黒斑病
45(C8) 40(H5)	ザンプロDMフロアブル	1,500~2,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	アトクランジン(FRACコード:45(C8))3回以内 ジメモルフ(FRACコード:40(H5))3回以内	
P07(P7)	アリエッティ水和剤	800倍	収穫3日前まで	3回以内	散布	ホセチル(FRACコード:P07(P7))3回以内	疫病
27(U) 40(H5)	ベトファイター顆粒水和剤	2,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	シモキサニル(FRACコード:27(U))4回以内 ベンチアハリカルブイソプロピル(FRACコード:40(H5))3回以内	
M01(M)	Zボルドー	500倍	—	—	散布	塩基性硫酸銅(FRACコード:M01(M))	野菜類 軟腐病
M01(M)	クプロシールド	1,000~2,000倍	—	—	散布	塩基性硫酸銅(FRACコード:M01(M))	野菜類 軟腐病
M01(M)	ヨネポン水和剤	500倍	収穫7日前まで	4回以内	散布	ノルファンノールホン酸銅(FRACコード:M01(M))4回以内	黒斑病、さび病、軟腐病
M03(M)	ジマンダイセン水和剤	600倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	マンゼブ(FRACコード:M03(M))3回以内	黒斑病、さび病
M05(M)	ダコニール1000	1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	TPN(FRACコード:M05(M))4回以内(但し、土壌灌注は1回以内、散布は3回以内)	黒斑病、さび病、葉枯病、小菌核腐敗病

\*FRACコード(殺菌剤コード)。殺菌剤の有効成分を作用点と作用機構から分類した番号や記号のことで、本コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができる。

U:作用機構が不明あるいは不明確な薬剤 M:多作用点接触活性をもつ薬剤

\*\*散布液量:フォリオゴールドおよびアミスターオプティフロアブルは100~400L/10a。ランマンフロアブルは150~300L/10a。その他の薬剤は、100~300L/10a。